

尚絅子育て研究センター 第15回公開シンポジウム

◎ 講演 〈9:30～11:00〉 管理棟5階 大講義室

『子どもの育ちの根底にある大切なものって?～脳科学からみた子育て～』

講師：成田奈緒子(文教大学教育学部特別支援教育専修 教授 医学博士(小児科医))

人間形成の土台となる乳幼児期にもっとも大切なことは何か?脳科学の分野から子どもの育ちの根底を支える「くらし」「遊び」の重要性についてお話いただきます。発達の課題をもった子どもたちの保育を考えると、この基本的な生活リズムや食生活、身体をしっかりとつかった遊びや自然との対話をもう一度振り返る中で、個の育ちと集団としての育ちを支えていくためのヒントが見つかるのではないのでしょうか。どの子も育つ!そして、大きな可能性を秘めている子どもたちのかしこい頭と優しい心を育ててくためにも、ぜひ成田先生のお話からたくさん学んでいきたいですね。

成田奈緒子(なりた なおこ)

文教大学教育学部特別支援教育専修 教授
日本小児科学会認定小児科専門医・発達脳科学者
子育て科学アクシス 代表



主な著書

『「睡眠第一!」ですべてうまくいく』(上左/双葉社)
『早起リズムで脳を育てる』(上右/芽ばえ社)
『小学生ママのしんばい百科 家庭編』(小学館)
『脳の進化で子どもが育つ』(芽ばえ社)
『なぜ?なるほど!!に変わる本』(プレーン社)
『赤ちゃんの脳とこころを育てる親子レッスン』(ブティック社)
『脳の鍛え方 育てかた』(すばる舎)他

〈プロフィール〉

1987年 神戸大学医学部卒業
医学博士 日本小児科学会認定小児科専門医
1994-1998年 米国セントルイスワシントン大学医学部リサーチアソシエート
1998-2000年 獨協医科大学越谷病院小児科 助手
2000-2005年 筑波大学基礎医学系講師
を歴任し、小児科の臨床と基礎研究に従事する。
2005-2009年 文教大学教育学部 特別支援教育専修 准教授
2009年- 同 教授
兼 茨城県発達障害者支援センターと茨城県土浦児童相談所の嘱託医等を兼任、牛久愛和病院小児科での専門外来も開設しており、小児期のさまざまな精神心理疾患の外来診療にも携わっている。
2014年- 医学・心理・教育・福祉を包括した専門家集団による新たな親支援事業「子育て科学アクシス」を開設、代表に就任。また、文部科学省や東京都教育委員会などで子どもの生活習慣を科学的に考える育児、教育への提言・社会活動を行っている。

◎ 対談 〈11:10～12:00〉 管理棟5階 大講義室

『孤育てから共育て、そして共育ちへ～おとなも子どもも育ち合う保育～』

シンポジスト：山本直美 (白山幼稚園 主任)
西富ひろみ (ひまわり保育園 主任)
成田奈緒子(文教大学 教授)
コーディネーター：曾田裕司 (本学幼児教育学科)

今、不安定な雇用や長時間労働など親の労働が厳しくなり、家庭の暮らしを家族とともに丁寧につむぐことができなくなっています。また、競争社会の中で、わが子の将来を案じて早くから小学校1年生に入るための準備教育をさせなければと不安になる保護者も少なくありません。

しかし、立ち止まってもう一度、一緒に考えてみませんか?この生まれて間もない小さな子ども時代に、私たちおとなが贈ることのできるものって何でしょうか?そして、親子のくらしを守り、子どもの幸せのためにできる保育って何でしょう?保育の取り組みのなかで、子どもも親も育っていくためにどんなことができるのでしょうか?

さびしく不安な孤育てから親も保育者も共に育て、おとなも子どもも、子ども同士も共に育っていく、そんな社会を創造する第一歩を保育の実践から一緒に考えて行きましょう。

第30回サマーセミナー 各講座内容のごあんない

◎ 講座 〈13:00～14:30 ※2～5は、15:00まで〉

1 保護者対応の心理学 (2号館2階 第5講義室)…………… 講師 緒方宏明

保護者の対応は、どの園においても大きな課題ではないでしょうか。理論武装するのではなく、保護者の言い分を良い悪いを超えた次元で受け入れ、どこまでも信頼関係を前提に対応するための方法を考えます。①保護者の感情を受容すること、②現在の状況を客観的に理解すること、③今後の見通しをたてることが鍵になります。

2 暮らしを彩るステンシル (1号館1階 図工室)…………… 講師 横山博之

ステンシルとは、アメリカンカンントリー文化の一つで、部屋の家具や衣類などを、美しく飾るために用いられた、型染めとも呼ばれる技法です。母親が、生活の中を豊かに彩ったステンシルは、素朴で温もりのあるものです。今回はステンシルの体験ということですが、もし、木製の小物や布製のバッグなどに装飾を入れてみたい方は、それらをご持参下さい。(30人まで)

3 子どものあそび わらべうた (管理棟5階 大講義室)…………… 講師 小山真規子、佐藤レイ子、橋口兼太郎
(かごしまコテージ芸術教育研究所) (はっぴいの園) (すくすく保育園益城)

「わらべうた」は子どもの遊びです。その遊びの中に子どもが成長していく上で必要な栄養が多くある事をご存じでしょうか。子どもと関わる大人達が、子ども一人ひとりの人格を尊重し育んでいくならば、子どもにとってこのうえない幸せとなるのではないのでしょうか。

4 明日からの保育にむけて一日頃の保育を語り合うワークショップ (各講座10人程度を予定しております)

① 乳幼児期の気持ちの調整と保育者の関わり

(2号館1階 第1講義室)…………… 講師 森野美央
(長崎大学)

少人数で保育について語り合う講座です。日々の保育の中で、嬉しかったり、感動したり、悲しかったり、悔しかったり、保育者の心も大きく動くことがあると思います。今回は、「(色々な意味で)忘れられないお集まり」に焦点をあて、エピソードを語り合い、笑ったり、ホロリとしたりしながら、保育を振り返ってみましょう。

④ 新米保育者と語り合おう!～自分らしい保育をめざして～

(2号館1階 雑誌閲覧室)…………… 講師 片桐真弓

いい保育がしたいと思いながらも、自分の思ったように保育が出来なかったり、子どもの心が見えなくなったり。希望をもって保育者になったはずなのに…。そんな時は、日々の実践の一場面を取り上げて、仲間と共に語り合ってみませんか。自分らしい保育が見えてくるかもしれません。この講座は、経験年数3年以内の保育者が対象です。

② よりよい保育のためのチームワークづくり

(2号館1階 第2講義室)…………… 講師 佐伯借子
(元水前寺保育園長)

子どもたちが安心して成長できる環境には、保育者のチームワークは欠かせません。その中で子どもたちが自己発揮しながら仲間意識を育み成長してほしいものです。保育者が互いに力を出し合い、支え合いながらより良いチームワークづくりをするには?…そのキーポイントを探りましょう。

⑤ 『早寝・早起き・朝ごはん』にむけた取り組みを

話し合しましょう

(2号館2階 視聴覚室)…………… 講師 重松由佳子

今、『早寝・早起き・朝ごはん』の重要性が改めて見直されています。園や施設での子どもたちの生活習慣の実態はいかがでしょうか?子どもたちの実態や、実態にあわせた取り組みをご紹介いただきながら、園や施設での、『早寝・早起き・朝ごはん』にむけた取り組みについて話し合しましょう。

③ 子ども理解と保護者対応のあり方

(2号館1階 第3講義室)…………… 講師 小川内哲生

保育現場には落ち着きのない子、トラブルの多い子など対応の困難な子どもたちがいます。そのような気になる子どもたちを理解するポイントや支援のあり方、ならびに保護者とのかかわり等について一緒に考えていきましょう。

⑥ 笑育(大人も子どもも笑顔を共有できる保育)を目指して

(1号館2階 音楽教室)…………… 講師 廣永芳伸
(熊本市立山本保育園)

保育士になって22年! その当時は珍しがられていた男性保育士も、今では普通!? 泣いたり笑ったり、叱られたり誉められたり…普通ではない私の保育士人生も、やっど折り返し地点!? 子ども・保護者・職員・地域等、みんなで笑いあえる保育を目指して奮闘中。こんな「おっさん保育士」DO!?

◎ 閉講式 〈15:00～15:15〉 短大学生ホール

◎ オフィスアワー 〈15:15～16:30〉 幼教教員各研究室

卒業生の方は久しぶりの母校で懐かしく思われることでしょう。教員は研究室で待機していますので遠慮せず尋ねてください。また、本校の卒業生以外の先生も大歓迎です。日頃から課題に思っている事や保育に関する悩みなどありましたら、我々と語り合いませんか。

管理棟：佐澤、重松、柴田
短大1号館：曾田、森、緒方
短大2号館：市川、安川、青木、
金澤、小川内、増淵、片桐、坂本、横山
体育館：柿原

各教員の研究室